

■ 掲示板

■ 第21回 (2021年度) 「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞」の募集

山崎貞一賞：「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞 (以下、山崎貞一賞)」は、科学技術水準の向上とその普及啓発に寄与することを目的とし、また、当財団の初代理事長を務めた故山崎貞一氏の科学技術および産業の発展に対する功績、人材の育成に対しての貢献を記念して創設された賞であります。

募集対象分野 (2021年度)：

1. 「計測評価」
2. 「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」

内容：

- (1) 受賞者は国籍を問わず、日本国内に於いて優れた創造的業績をあげている人とします。
- (2) 誠実な人間性のある人物を授賞対象とします。
- (3) 受賞者全員に賞状および各分野に対し賞金300万円を贈呈します。
- (4) 贈呈式典は11月に執り行う予定です。
- (5) 過去に応募し選に漏れた人でも、再応募可能です。その際、新たな発展、新たな資料をお持ちの場合は、それらも提示して申請書を作成し応募してください。
- (6) 複数人 (総計3名以内) で応募される場合は、各人につき申請書に詳細な寄与実績を記載してください。
- (7) 申請書を作成するに当たっては、記入要領に従ってください。

応募方法：必要書類一式を Web システムよりご提出ください。

申請書一式は、募集期間中に山崎貞一賞ホームページよりダウンロードいただけます。

山崎貞一賞ホームページ：

<https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>

募集期間：2021年3月15日 (月)～4月30日 (金)

問合せ先：

一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200 (直通) FAX：03-3415-5987

E-mail：prize@mst.or.jp

■ 2021年度 後期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当研究所の放射光および低速陽電子を利用する学術研究のための実験が対象です。

国内外の大学及び公的研究機関の教員・研究員・技術職員、成果公開型の学術研究を認める民間企業の研究者、又はこれらと同等と所長が認める者を対象とします。

申請受付開始：2021年4月14日 (水)

応募要領：実験課題申請システム【<https://pmsweb.kek.jp/k-pas/>】を利用した電子申請となります。

応募締切は2021年5月中旬 (予定) です。

なお、初心者課題、緊急課題等については、随時受付しています。

具体的な申請書作成等に関する詳細については、

<https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html> をご参照ください。

その他：共同利用実験の成果については、公表していただきます。

問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

E-mail：kyodo1@mail.kek.jp

TEL：029-864-5126

■ 会告

■ 第25回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2020年9月23日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第128回評議員会にて第25回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第34回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

・大坂泰斗 (理化学研究所放射光科学研究センター XFEL 研究開発部門 ビームライン研究開発グループ ビームライン開発チーム)

「X線自由電子レーザー先端利用のための新しいX線光学系の開発」

大坂泰斗氏は、X線自由電子レーザー (XFEL) の先端利用を実現する新しいX線光学系として、X線分割遅延光学系、ならびに、Siマイクロチャネルカット結晶素子の開発を実現した。

X線分割遅延光学系は、単一のXFELパルスから時間差可変のダブルパルスを生成する光学系である。X線光子相関分光法 (XPCS) やX線非線形光学等のXFEL先端利用を大きく発展させると期待されていたが、技術的な難度が極めて高く実現されていなかった。大坂氏は、要素技術としてのシリコン光学素子を開発しながら、光学系を新たに設計・構築した。その上で、SACLAで検証試験を行い、分割遅延系が正しく動作することを世界で初めて実証し、さらにXFELの時間コヒーレンス特性の直接計測も達成した。また、Siマイクロチャネルカット結晶素子

は、反射型セルフシード法という新たな XFEL 生成手法において中核となる光学系である。大坂氏は、優れた結晶加工技術を用いてギャップ幅がわずか100 μm の Si マイクロチャンネルカット結晶素子を開発し、反射型セルフシード法による高強度・狭帯域な XFEL の安定生成の実現と、その利用の発展に大きく貢献した。

大坂氏は、XFEL 施設・コミュニティを中心に国際的な評価も極めて高く、今後の一層の活躍が期待される。以上により、大坂泰斗氏の業績は本学会奨励賞に相応しいものと認められた。

■第4回放射光科学賞選考結果報告

2020年9月23日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第128回評議員会にて第4回放射光科学賞の授与が承認され、第34回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

●石川哲也(理化学研究所 放射光科学研究センター センター長)「SPring-8 X線光学系の開発とコヒーレント X線光学の開拓」

石川哲也氏は、これまで約40年にわたって、日本と世界の放射光科学を先導してきた。石川氏は、Photon Factory から東大を経てSPring-8に至る研究経歴の中で、数々の新しいX線光学系を世に送り出してきた。最大の業績の一つは、大型放射光施設SPring-8におけるX線光学系・ビームライン技術を確立したことである。SPring-8は当時、世界最高輝度の光源であったが、それ故に光学素子への熱負荷が大きな問題となっていた。石川氏は、自ら開拓した独自の光学技術によって、高い熱負荷にも耐えうる高性能な光学システムを開発し、SPring-8の光源性能を引き出すことに成功した。これにより、物質、生命科学などの広範な分野における放射光科学の発展に大きく貢献した。

また、石川氏は新たな分野であるコヒーレント X線光学の開拓を行なった。特に、世界に類を見ない1 km 長尺ビームラインと27 m 長尺アンジュレータビームラインをSPring-8に構築し、世界最高のコヒーレンスを持つX線の利用を推進した。さらに、これらの成果は、コンパクト XFEL 光源のコンセプトの提唱と実証につながり、石川氏のリーダーシップのもと独創的かつ高機能なコンパクト XFEL 施設 SACLA が実現し、X線非線形光学をはじめとする最先端のサイエンスが展開されている。

このように、石川氏は我が国発の世界最高水準である放射光科学を生みだし、放射光コミュニティの発展に著しく貢献した。以上により、石川哲也氏は第4回放射光科学賞を受賞するに相応しいものと認められる。

■第8回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2020年9月23日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第128回評議員会にて第8回日本放射光学会功労報賞の授与が承認され、第34回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

●有田将司(広島大学技術センター(共通機器部門共通利用機器管理班))

有田将司氏は、平成11年に広島大学放射光科学研究センター

(HiSOR)に着任し、以来21年間HiSORのビームライン担当技術職員として放射光利用技術の高度化及び利用者支援に取り組んできた。

有田氏は、HiSORの特色となっている低エネルギー放射光を用いた高分解能角度分解光電子分光(ARPES)ビームラインBL-9Aの整備・高度化の中核を長年担ってきた。2004年には放射光を用いた固体の光電子分光で世界最高のエネルギー分解能である700 μeV を達成した他、HiSORの施設設備の維持管理や、共同利用・共同研究拠点活動の基盤を支えてきた。その結果、HiSORのBL-9Aからは学術的にインパクトのある多くの研究成果が創出され、小型放射光源の特色を活かした世界的にもユニークなビームラインとして国内はもとより海外の有力な研究グループがこのビームラインで共同利用・共同研究を実施している。有田氏はビームライン担当者として国内外の研究者の課題申請を引き受け、多くの論文の共著者となっている。

以上のように、有田将司氏は長年にわたる放射光利用技術の高度化および利用支援の取り組みを通じて放射光科学分野に対する多大な功労があり、日本放射光学会功労報賞に相応しい技術者である。

■日本放射光学会第129回評議員会議事録

日時:2021年1月8日(金) 11:00~12:00

場所:Web(Zoom)会議

出席者(31名):朝倉清高(会長)、足立伸一、阿部仁、雨宮健太、有馬孝尚、五十嵐教之、稲田康宏、大橋治彦、岡島敏浩、加藤政博、岸本浩通、木下豊彦、組頭広志、解良聡、小林幸則、近藤寛、高田昌樹、高橋嘉夫(会計幹事)、為則雄祐、原田慈久、藤原明比古、船守展正、松田巖、矢代航、矢橋牧名、山本雅貴、横山利彦、渡辺義夫

小嗣真人(行事幹事)、田旺帝(庶務幹事)、中村哲也(渉外幹事)、

欠席者(3名):島田賢也、関山明(編集幹事)、和達大樹(広報幹事)

事務局:佐藤亜己奈

0-1. 会長挨拶を行った。

<審議事項>

1. 第34回総会議事

田庶務幹事より、第34回総会の議事案について説明があり、これを承認した。

2. 第35回年会・合同シンポジウム(JSR2022)について

小嗣行事幹事より、第35回年会・合同シンポジウム(JSR2022)はJSR2021と同様にオンラインを主軸として開催したい旨の説明があり、これを承認した。実行委員会の形態は検討中。

3. 日本放射光記念シンポジウムについて

小嗣行事幹事より、2022年に予定していた日本放射光記念シンポジウムについて、新型コロナウイルスの国際的な収束が不透明であることから、2022年の開催は困難と考えられるとの説明があった。SORリング建設から50周年となる2024年に延期し、対面での開催を目指したいとの提案があ

- り、これを承認した。
4. 大学院生の国際活動支援奨学金について
田庶務幹事より、2021年度の国際活動支援奨学金募集案について説明があり、これを承認した。尚、2020年度は新型コロナウイルスの影響により募集が出来なかった旨、説明があった。
 5. 2020年度決算案
高橋会計幹事より、2020年度決算案について説明があり、これを承認した。
 6. 2021年度予算案
高橋会計幹事より、2021年度予算案について説明があり、これを承認した。
尚、2021年度はAOFSRR協賛金の支出が不要となったため、国際活動支援奨学金を繰越金(100万円)から支出することを取り止める。そのため、2020年度から開始しているこの国際活動支援奨学金は2024年度(5年間)まで支出する予定であったが、2025年度まで支出することとし、これを今後申し送る、との説明があった。
 7. 会員異動
田庶務幹事より、第128回評議員会以降の入会申請に関して、入会：正会員36名(内学生25名)、シニア会員1名の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員8名(内学生0名)を確認した。2021年1月8日現在の総会員数は、1221名(内学生99名)、名誉会員3名、シニア会員84名、賛助会員46社(48口)、特別賛助会員13団体(20口)。また、会費3年間未納のための自動退会者(正会員30名、賛助会員1社1口)および会費2年滞納者(正会員59名、賛助会員1社1口)、連絡先不明(正会員33名)のリストを確認した。
会費3年未納による自動退会者については、2021年1月末までに支払いが無ければ自動退会とすることを確認した。
 8. 協賛・後援・共催
中村渉外幹事より、本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり、協賛7件、後援1件を承認した。
 9. 会員マイページについて
田庶務幹事より、会員マイページについて、2021年秋運用開始を目指して、近日中に業者と打ち合わせを行う予定との説明があり、具体的に検討を進めることについて承認をした。
 10. リモート実験等諮問委員会
朝倉会長より、リモート実験の現状、その用語と定義の統一、現状における問題と解決策、将来への方向性について検討する「リモート実験等諮問委員会」を立ち上げたい旨、提案があった。また、委員長は木下豊彦会員にお願いし、委員メンバーの選定は委員長と会長に一任いただきたいとの説明があった。委員会を立ち上げることについては承認し、「リモート実験等」という委員会の名称については、答申を対外的に公開するまでに改めて検討をすることとした。
 11. 共同利用・共同研究拠点申請推薦書
朝倉会長より、令和3年2月26日を締め切りとする共同利用・共同研究拠点申請にともない、学会の推薦書を求めら

れることが予想されるため、学会としての対応を議論したいとの説明があった。

会長より、対応方針について以下のように提案があり、これを承認した。

- 窓口は放射光学会事務局とする。
- 支援をするかどうかは、第81回評議員会(2009年1月9日)で決定の判断基準に従って、会長・渉外幹事が判断し、幹事会・評議員会には事後報告とする。
- 推薦書は依頼機関の雛形をもとに渉外幹事が作成したものを会長が確認し、会長名で提出する。

12. 評議員選挙の候補推薦人数変更について
朝倉会長より、第127回評議員会で継続審議となっていた、評議員選挙の候補推薦人数変更について、幹事会で推薦人数変更のシミュレーションを行った結果の説明があった。会長より、推薦人数は変更せず現状(3名以上の推薦によって候補者とする)のままとしたいとの提案があり、これを承認した。
13. 高良賞、佐々木賞について
朝倉会長より、一昨年ご逝去された高良和武先生、佐々木泰三先生のご業績をたたえ、後世に引き継ぐため、高良賞、佐々木賞を設置することを検討したいとの提案があった。評議員から意見を募りながら、幹事会を中心に検討を進めることを承認した。

〈報告事項〉

1. JSR2021状況
小廻行事幹事より、第34回年会・合同シンポジウム(JSR2021)が順調に開催されている旨、報告があった。
 2. 会誌編集状況
朝倉会長より、依頼記事の進捗状況について報告があった。
- 評議員会日程(予定)の確認**
- 第130回評議員会 2021年4月10日(土) 場所: Web(Zoom) 会議で開催予定
- 第131回評議員会 2021年7月10日(土) 場所: Web(Zoom) 会議で開催予定

■第34回(2021年)日本放射光学会総会議事録

日 時: 2021年1月8日(金) 14:30~15:30

場 所: Web(Zoom) 会議

出席者: 出席者: 243名 委任状: 45名 計: 288名

定款第28条により、正会員の1/10(122名)以上の参加で総会は成立。

(議事)

1. 議長選出
議長に船守展正会員を選出した。
2. 2021年度会長挨拶
朝倉会長より挨拶があり、2021年度活動方針について所信表明があった。
3. 2020年度事業報告
田庶務幹事より、2020年度の学会活動について報告があった。
4. 2021年度学会組織

田庶務幹事より、2021年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会）について報告があった。広報幹事が新設された旨、説明があった。

5. 2021年度事業計画

田庶務幹事より、2021年度の事業計画について説明があった。

6. 2021年度行事幹事活動方針

小嗣行事幹事より、2020年度の活動について報告があった。また、年会・合同シンポジウムのオンライン開催、若手研究会・基礎講習会の継続など、2021年度の行事活動方針について報告があった。

7. 2021年度編集幹事活動方針

関山編集幹事より、会誌編集状況の報告があった、また、COVID-19に対応した学会誌低コスト化について具体的に検討を進めるなど、2021年度の活動方針について報告があった。

8. 2021年度渉外幹事活動方針

中村渉外幹事より、国内外における学術交流の活性化に取り組む、放射光分野のプレゼンスを学会の外に向けてしっかり示しつつ、分野の裾野を広げる、また、学会内に対しては会員による情報交換・情報発信を通じた研究活動の一層の活性化を図ることを目指すなど、2021年度の活動方針について報告があった。尚、学会ホームページのアップデートに関しては、広報幹事に引き継いだ旨、説明があった。

9. 2021年度広報幹事活動方針

田庶務幹事より、2021年秋運用開始を目指して会員マイページの検討を進めている旨、報告があった。

10. 大学院生の国際活動支援奨学金について

田庶務幹事より、大学院生の国際活動支援奨学金募集について説明があった。

11. 第4回放射光科学賞

朝倉会長より、下記の1名を第4回放射光科学賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

石川哲也 会員（理化学研究所 放射光科学研究センターセンター長）

「SPRING-8 X線光学系の開発とコヒーレント X線光学の開拓」

12. 第25回学会奨励賞

朝倉会長より、下記の1名を第25回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

大坂泰斗 会員（理化学研究所放射光科学研究センターXFEL研究開発部門ビームライン研究開発グループビームライン開発チーム）

「X線自由電子レーザー先端利用のための新しいX線光学系の開発」

13. 第8回功労報賞

朝倉会長より、下記の1名を第8回功労報賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

有田将司氏（広島大学技術センター（共通機器部門共通利用機器管理班））

14. 2020年度決算報告

高橋会計幹事より、2020年度決算および資産負債明細について説明があり、これを承認した。

15. 2021年度予算案

高橋会計幹事より、2021年度予算案が示され、これを承認した。

■会員異動

第129回評議員会（2021年1月8日）で承認

《正会員入会》

Zhao Wenyang 理化学研究所 放射光科学研究センター

鬼頭 俊介 名古屋大学大学院 工学研究科

須田 耕平 名古屋大学シンクロtron光研究センター シンクロtron光利用研究部門

河智 史朗 東京工業大学元素戦略研究センター 山浦研究室

武田 基希 株式会社ミルボン

松浦 滉明 理化学研究所 放射光科学研究センター 生物系ビームライン基盤グループ

Greg Rigby Hitachi High-Tech Science America, Inc.

仲村 勇樹 公益財団法人 高輝度光科学研究センター タンパク質結晶解析推進室

平木 俊幸 理化学研究所放射光科学研究センター

梅津 理恵 東北大学 金属材料研究所 新素材共同研究開発センター

豊島 遼 慶應義塾大学理工学部化学科近藤研究室

以上11名

《学生会員入会》

柴田友里亜 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻光物性研究室

仲矢 透 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻木村研究室

塩見 学 名古屋大学工学研究科応用物理学専攻澤研究室

城戸 大貴 北海道大学大学院工学院量子理工学専攻触媒表面研究室

田中 宏明 東京大学 物性研究所 近藤研究室

董 凱悦 北海道大学工学院量子理工学専攻触媒表面研究部門

大塚 祐司 群馬大学大学院 理工学府 電子情報・数理教育プログラム 櫻井研究室

阿部 真樹 東北大学多元物質研究所高橋幸生研究室

元川 卓也 兵庫県立大学大学院 工学研究科 応用化学専攻物質計測化学研究グループ

村上 諒 電気通信大学情報理工学研究科庄野逸研究室

清水 啓史 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 基礎理工学専攻 近藤研究室

内和田 純平熊本大学大学院 自然科学教育部 赤井研究室

高澤駿太郎 東北大学多元物質科学研究所高橋幸生研究室

河野 嵩 広島大学大学院理学研究科光物性研究室

吉川 智己 広島大学大学院理学研究科光物性研究室

鷲見 寿秀 東京大学大学院理学系研究科化学専攻松田巖研究室

魯 邦 北海道大学
山本 華文 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻分子光科学研究室
田伏 真隆 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 先進理工系科学専攻 物理学プログラム 分子光科学研究室
上松 英司 東北大学工学研究科高橋幸生研究室
佃 康平 東京理科大学大学院 基礎工学研究科 材料工学専攻 西尾研究室
平松 快 広島大学理学部放射光物理学研究室
岩尾 剛志 広島大学理学部放射光物理学研究室
天道 尚吾 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻分子光科学研究室
和田 直樹 東京工業大学情報理工学院情報工学系青西研究室
以上25名

《シニア会員入会》
和泉 義信 山形大学

以上1名

《退会会員》

正会員8名

《会員数》

会員1221名（内学生99名）名誉会員3名 シニア会員84名
賛助会員46社（48口）特別賛助会員13団体（20口）

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 関山 明
渉外幹事 中村哲也

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr342

Password: y8tcL6uq

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、[学会誌「放射光」のオンライン閲覧](#)をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、中村 (tetsuya.nakamura.b5@tohoku.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、関山 (sekiyama@mp.es.osaka-u.ac.jp) までお願いします。

日本放射光学会2020年度決算書
自 2019年10月1日 至 2020年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	8,940,000	13,018,000	11,985,000
	学生会員会費収入	193,000		8,116,000
	賛助会員会費収入	2,600,000		184,000
	購読会員会費収入	285,000		2,400,000
	特別賛助会員会費収入	1,000,000		285,000
				1,000,000
会誌収入	会誌広告収入	3,410,567	3,875,426	3,842,946
	会誌販売収入	277,582		3,378,887
	別刷収入	187,277		276,782
	会誌カラー印刷費	0		187,277
				0
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	964,980	964,980	964,980
				964,980
行事開催収入	基礎講習会	55,000	55,000	55,000
				55,000
単行本出版収入	販売収入(ビームライン光学技術)	104,774	117,533	147,533
	販売収入(ブルーボックスおよび検出器)	12,759		104,774
	広告収入	0		12,759
				30,000
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	126	126
	受取利息	126		0
				126
収入の部合計			18,031,065	16,995,585

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	4,061,128	5,170,904	5,170,904
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	49,901		4,061,128
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	945,875		49,901
	原稿料	114,000		945,875
単行本出版費	出版費（ビームライン光学技術）	25,056	25,056	25,056
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	69,879	69,879	69,879
行事開催費	高良和武先生・佐々木泰三先生追悼講演会	35,000	139,613	139,613
	基礎講習会開催費	104,613		35,000
	若手研究会開催費	0		104,613
事業費	会議費	780,230	2,470,951	2,470,951
	通信費	254,094		780,230
	印刷費	28,217		254,094
	事務局交通費	7,060		28,217
	AOFSRR 協賛金	1,098,700		7,060
	国際活動支援奨学金	302,650		1,098,700
管理費	消耗品費	69,542	413,681	413,681
	運賃（宅急便+メール便）	20,280		69,542
	支払手数料	199,108		20,280
	web サーバー維持費	68,005		199,108
	学会誌等処分費	55,000		68,005
	PayPal 処理手数料	1,746		55,000
	その他管理費	0		1,746
	予備費	予備費		0
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	840,400	6,973,824	6,973,824
	会計業務委託費	264,000		840,400
	庶務業務委託費	1,064,800		264,000
	ホームページ更新等	561,000		1,064,800
	イベント関連業務	132,000		561,000
	学会誌関連業務	3,445,640		132,000
	保管料（倉庫代）	132,000		3,445,640
	その他業務費	533,984		132,000
	会計業務費	税理士顧問料		110,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	10,000	10,000	10,000
回収不能金			1,109,000	0
支出の部合計			16,492,908	15,383,908

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			1,538,157	1,611,677
前期繰越金			27,570,477	24,909,277
次期繰越金			29,108,634	26,520,954

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

2020年度資産負債明細

2020年9月30日現在

1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 現金及び預金	手持現金残高	0	0
	東京貯金事務センター 振替貯金 0019-0-25525	19,916,591	19,916,591
	三菱UFJ銀行池袋支店 普通預金 5191785	19,406,563	19,406,563
2. 未収金	正会員会費未収残高	2,000,000	
	学生会員会費未収残高	59,000	
	賛助会員会費未収残高	250,000	
	購読会員会費未収残高	195,000	
	会誌販売, 他未収残高	83,680	
3. 立替金		0	0
4. 前払金		0	0
5. 貸付金	JSR2021準備金	3,000,000	3,000,000
流動資産の部合計		44,910,834	42,323,154

未収金を含まない金額

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費 722名	5,768,000
	学生会員会費 0名	0
	賛助会員会費 43社 (45口)	2,250,000
	特別賛助会員会費 11団体 (16口)	800,000
2. 未払金	通信費, ポラリス業務委託費	6,984,200
3. 預り金		0
負債の部合計		15,802,200

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 前期繰越金		27,570,477	24,909,277
2. 当期収支差額		1,538,157	1,611,677
剰余金の部合計		29,108,634	26,520,954

未収金を含まない金額

負債・剰余金の部合計		44,910,834	42,323,154
------------	--	------------	------------

日本放射光学会2021年度予算書
自 2020年10月1日 至 2021年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	8,960,000	12,645,000	11,815,000
	学生会員会費収入	0		8,130,000
	賛助会員会費収入	2,400,000		0
	購読会員会費収入	285,000		2,400,000
	特別賛助会員会費収入	1,000,000		285,000
				1,000,000
会誌収入	会誌広告収入	2,800,000	3,350,000	3,350,000
	会誌販売収入	250,000		2,800,000
	別刷収入	200,000		250,000
	会誌カラー印刷費	100,000		200,000
				100,000
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	0	0	0
				0
行事開催収入	基礎講習会	0	0	0
				0
単行本出版収入	販売収入(ビームライン光学技術)	20,000	30,000	30,000
	販売収入(ブルーボックスおよび検出器)	10,000		20,000
	広告収入	0		10,000
				0
雑収入	その他	0	1,000	1,000
	受取利息	1,000		0
				1,000
収入の部合計			16,026,000	15,196,000

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,500,000	4,550,000	4,550,000
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	50,000		3,500,000
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	900,000		50,000
	原稿料	100,000		900,000
単行本出版費	出版費（ビームライン光学技術）	0	0	0
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	150,000	150,000	150,000
行事開催費	基礎講習会開催費	250,000	1,250,000	1,250,000
	若手研究会開催費	1,000,000		250,000
事業費	会議費	500,000	2,510,000	2,510,000
	通信費	250,000		500,000
	印刷費	30,000		250,000
	事務局交通費	30,000		30,000
	AOFSRR 協賛金	0		30,000
	国際活動支援奨学金	1,000,000		0
	マイページ	700,000		1,000,000
管理費	消耗品費	40,000	375,000	375,000
	運賃（宅急便+メール便）	20,000		40,000
	支払手数料	180,000		20,000
	web サーバー維持費	60,000		180,000
	学会誌等処分費	55,000		60,000
	PayPal 処理手数料	10,000		55,000
	その他管理費	10,000		10,000
				10,000
予備費	予備費	100,000	100,000	100,000
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	860,000	6,640,000	6,640,000
	会計業務委託費	260,000		860,000
	庶務業務委託費	1,100,000		260,000
	ホームページ更新等	550,000		1,100,000
	イベント関連業務	200,000		550,000
	学会誌関連業務	3,000,000		200,000
	保管料（倉庫代）	130,000		3,000,000
	その他業務費	540,000		130,000
				540,000
会計業務費	税理士顧問料	110,000	110,000	110,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	10,000	10,000	10,000
回収不能金		830,000	830,000	0
支出の部合計			16,525,000	15,695,000

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			- 499,000	- 499,000
前期繰越金			29,108,634	26,520,954
次期繰越金			28,609,634	26,021,954

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

■日本放射光学会2021年度組織

■会長（任期：2019.10.01-2021.09.30）

朝倉清高（北大）

■幹事（任期：2019.10.01-2021.09.30）

庶務幹事 田 旺帝（ICU）

行事幹事 小嗣 真人（東理大）

編集幹事 関山 明（阪大）

渉外幹事 中村 哲也（東北大/PhoSIC）

会計幹事 高橋 嘉夫（東大）

広報幹事 和達 大樹（兵庫県立大）

■評議員

（任期：2019.10.01-2021.09.30）

朝倉 清高（北大）

阿部 仁（KEK/茨城大）

稲田 康宏（立命館大）

大橋 治彦（JASRI）

加藤 政博（広大）

岸本 浩通（住友ゴム工業）

組頭 広志（東北大/KEK）

高田 昌樹（東北大）

原田 慈久（東大）

藤原明比古（関学）

船守 展正（KEK）

松田 巖（東大）

矢代 航（東北大）

山本 雅貴（理研）

渡辺 義夫（あいちSR）

（任期：2020.10.01-2022.09.30）

足立 伸一（KEK）

雨宮 健太（KEK）

有馬 孝尚（東大）

五十嵐教之（KEK）

岡島 敏浩（あいちSR）

木下 豊彦（JASRI）

解良 聡（分子研）

小林 幸則（KEK）

近藤 寛（慶應義塾大）

島田 賢也（広大）

高橋 嘉夫（東大）

為則 雄祐（JASRI）

矢橋 牧名（理研）

横山 利彦（分子研）

和達 大樹（兵庫県立大）

■行事委員

（任期：2019.10.01-2021.09.30）

小嗣 真人（東理大）委員長

石黒 志（東北大）

泉 雄大（量研）

岩澤 英明（量研）

小川 修一（東北大）

久保田雄也（理研）

小林 正起（東大）

滝沢 優（立命館）

永村 直佳（NIMS）

松葉 俊哉（JASRI）

山神 光平（OIST）

■編集委員

（任期：2019.10.01-2021.09.30）

関山 明（阪大）委員長

東 純平（佐賀大）

井上伊知郎（理研）

杉本 宏（理研）

平 義隆（分子研）

徳田 一弥（住友電工）

林 好一（名工大）

増永 啓康（JASRI）

吉越 章隆（原子力機構）

和田 真一（広大）

（任期：2020.10.01-2022.09.30）

林 雄二郎（理研）

原田 哲男（兵庫県立大）

引田 理英（KEK）

藤本 将輝（分子研）

堀場 弘司（KEK）

宮本 幸治（広大）

矢治光一郎（NIMS）

山本 尚人（KEK）

若林 裕助（東北大）

■広報委員

（任期：2020.05.20-2021.09.30）

和達 大樹（兵庫県立大）委員長

木村 隆志（東大）

山田 悠介（KEK）

■2021年度の主な事業計画

- 第34回年会・放射光科学合同シンポジウム
2021年1月8日～10日（オンライン）
- 第34回総会
2021年1月8日（オンライン）
- 第4回放射光科学賞，第25回奨励賞，第8回功労報賞授与
2021年1月8日（オンライン）
- 若手研究会
- 基礎講習会
2021年夏季開催予定
- 評議員会（10月，1月，4月，7月）
- 編集委員会（年3回）
- 行事委員会（年1回，年会時）
- 拡大放射光施設代表者会議
- 学会各賞授賞選考（奨励賞，功労報賞，放射光科学賞）
- 次期会長・評議員選挙
- 学会誌の定期発行（年6回）
Vol.33, No.6/2020年11月末発行
Vol.34, No.1/2021年1月末発行
Vol.34, No.2/2021年3月末発行
Vol.34, No.3/2021年5月末発行
Vol.34, No.4/2021年7月末発行
Vol.34, No.5/2021年9月末発行
- 第35回年会・放射光科学合同シンポジウム
（2022年1月）準備

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2021年 6/23-25	第46回光学シンポジウム	オンライン開催	一般社団法人 日本光学会 E-mail: optsymp46-sp@myosj.or.jp	34・2
10/26-29	第34回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議	オンライン・オンデマンド会議	公益社団法人 応用物理学会 E-mail: secretariat@imnc.jp	34・2
11/28 -12/2	The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9)	サンポート高松 (サンポートホール高松&かがわ国際会議場)	公益社団法人 日本表面真空学会 E-mail: iss9@jvss.jp	33・1

■第46回光学シンポジウム

主催：一般社団法人 日本光学会
 協賛：日本放射光学会，他
 日時：2021年6月23日（水）～6月25日（金）
 場所：オンライン開催
 問合せ先：株式会社リコー 須藤 芳文
 E-mail：optsymp46-aud@myosj.or.jp
 詳細：http://myosj.or.jp/event2/opt_symp

■第34回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議

主催：公益社団法人 応用物理学会
 協賛：日本放射光学会，他
 日時：2021年10月26日（火）～10月29日（金）
 場所：オンライン・オンデマンド会議
 問合せ先：
 第34回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議（MNC
 2021）事務局
 (有)セクレタリーアート気付
 E-mail：secretariat@imnc.jp
 詳細：http://imnc.jp/2021/